

# 京都の土地改良



第1回水・土・里ふるさと写真コンクール受賞作品

|                                |                        |
|--------------------------------|------------------------|
| 京都府土地改良事業団体連合会第51回通常総会         | 1                      |
| 全国土地改良事業団体連合会第50回通常総会          |                        |
| 第49回土地改良功労者・農業農村整備優良地区コンクール表彰式 | 3                      |
| 就任のごあいさつ                       | 京都府農林水産部 農村振興課長 中村 治 5 |
| 写真コンクール発表                      | 6                      |
| 森と水土里のフォーラム                    | 7                      |
| 京都府21世紀土地改良区創造運動               | 9                      |
| 会員支援事業事例紹介                     | 10                     |
| 会員と土地改良事業団体連合会との業務契約について       | 11                     |
| 土地改良区役職員等研修会                   | 12                     |
| 非補助農業基盤整備資金                    | 12                     |
| 本会組織機構図                        | 13                     |
| 事務局だより                         | 14                     |

# 京都府土地改良事業団体連合会第51回通常総会 — 功労者表彰、議案審議 —



平成20年3月15日、京都市上京区の「平安会館」において、京都府土地改良事業団体連合会の第51回通常総会が、市町村、土地改良区、農業協同組合、農事組合法人の会員をはじめ、多数の来賓をお迎えし約180名の出席のもと、盛会に開催されました。

開会にあたり、野中会長が来賓ならびに会員各位に、本会の運営のご理解とご協力に対し感謝を述べ、提出議案の審議についてをお願いをした後、永年、京都府の農業農村整備事業の推進並びに土地改良区の運営に多大のご尽力をいただいた方々への土地改良事業功労者表彰を行いました。

次に公務ご多忙のなか、ご臨席いただいた小石原京都府副知事（知事代理）、齋藤近畿農政局長、家元府議会議長から御祝辞をいただき、その後、太田与謝野町長の議長により議事に入り、提出された議案はすべて原案どおりに承認されました。

## 〈議案〉

- 第1号議案 平成18年度事業報告の承認について
- 第2号議案 平成18年度収入支出決算並びに財産目録の承認について
- 第3号議案 平成19年度収入支出補正予算の理事会専決処分の承認について
- 第4号議案 平成20年度事業計画について
- 第5号議案 平成20年度収入支出予算について
- 第6号議案 平成20年度賦課金の賦課基準並びに徴収について
- 第7号議案 平成20年度一時借入金について
- 第8号議案 平成20年度預金取扱銀行について
- 第9号議案 平成20年度役員報酬について

# 土地改良事業功勞者



幡 信道 大原野土地改良区

北 川 勇 大住土地改良区

谷 昭 雄 園部町土地改良区

山 田 博 三 丹波町土地改良区

塩 見 加代子 福知山市土地改良区

依 田 米 一 与謝野町加悦土地改良区

田 中 直 朗 海部土地改良区

# 全国土地改良事業団体連合会第50回通常総会 第49回土地改良功労者・農業農村整備優良地区コンクール表彰式



全国水土里ネットの第50回通常総会が平成20年3月27日、東京都千代田区「ルポール麹町」において開催され、平成18年度収支決算、平成19年度補正予算、平成20年度事業計画、役員を選任等すべての議案が承認可決されました。最後に決議案が朗読され、満場一致で採択されました。

引き続き、全国水土里ネット主催の「第49回全国土地改良功労者・農業農村整備優良地区コンクール表彰式」が東京都千代田区「シェーンバッハ・砂防」で開催され、全国の土地改良区や市町村等の受賞者、都道府県土連代表、また、来賓として今村農林水産副大臣、佐藤参議院議員、中條農林水産省農村振興局長など多数の関係者の出席のもと盛大に開催されました。土地改良功労者表彰では、農林水産大臣表彰5団体、金章42団体、銀章47団体、銅章43団体、個人表彰として100名が受賞されました。また、農業農村整備優良地区コンクールでは、農林水産大臣表彰3地区、農村振興局長表彰4地区、全国水土里ネット会長表彰4地区が受賞されました。本会からは土地改良功労者表彰に次の1団体と3名の方が受賞されました。



# 土地改良功労者表彰

## 団体表彰

金章 福知山市土地改良区

## 個人表彰

梅原 万喜三 (福知山市土地改良区理事長職務代理者)

田島 茂 (巨椋池土地改良区事務局長)

猪熊 健仁 (京都府土地改良事業団体連合会専門官)

### 決議

農業・農村は、国民に食料を安定供給するとともに、豊かな自然環境、美しい景観の保全等の多面的な機能の発揮を通じて、日本の国土を形成し、国民の日々の暮らしを支えてきた。

しかしながら、三位一体改革等の構造改革により都市と地方の格差は拡大し、米価の下落等により農家経済は危機的な状況に陥っている。また、過疎化、高齢化が進む中で、中山間地域では各地の集落が消滅の危機にさらされ、耕作放棄地は拡大し、食料自給率は四十%を下回る状況となった。さらには、食の安心安全に対する信頼感が揺らぐとともに、地球温暖化や国際穀物価格の上昇等、将来の食料の安定供給の確保に対する懸念が高まっている。

こうした時代の中で、我々水土里ネットは、農業・農村の「水」「土」「里」と、これらを育み結びつける「人の営み」を、次の世代により良い形で引き継ぎ、かけがえない国土と豊かな国民生活を守っていかねばならない。

先人の叡智と連綿と積み重ねられてきた努力をならい、今の時代に生きる我々もこれを自らの責務とし、その使命を果たしていく覚悟が必要である。

新たな半世紀に臨むに当たり、左記事項の実現を図り、一致団結して、農業農村整備を推進していくことを総会の名において決議する。

### 記

一、安全・安心な食料の安定供給の確保や農業・農村が持つ多面的な機能の発揮を図るため、その基礎となる農地や農業用水の整備・保全並びに農村の振興に必要な施策として、国と地方の適切な役割分担のもと、農業農村整備を着実に推進していくこと

一、特に、国民への食料の安定供給を担う大規模な優良農業地帯における基幹的な農業水利施設については、今後とも国の責務において着実な整備・更新が図られるよう取り組んでいくこと

一、農村の地域資源や農村環境の保全向上を図る「農地・水・環境保全向上対策」に対し、水土里ネットとして主体的に取り組んでいくこと

一、担い手への農地の面的な集積等を通じた国内農業の体質強化に貢献するため、農地情報等の緊急的な整備に取り組んでいくこと

一、災害に強い農業農村づくりに向けた防災対策や耕作放棄地の解消を含む中山間地域の総合的な振興等を推進するとともに、都市と農村の共生対流を通じて農村の活性化に取り組んでいくこと

一、水土里ネットの名に相応しい役割と責務を十分認識し、時代の要請に応じた地域づくりの拠点としての機能を果たすべく、関係者が一丸となって「二十一世紀土地改良区創造運動」に邁進していくこと

平成二十年三月二十七日

全国水土里ネット 第五十回通常総会

# 就任のごあいさつ

京都府農林水産部 農村振興課長 中 村 治



4月1日付で農村振興課長を拝命いたしました。巨椋池干拓に始まり75年に及ぶ歴史と実績をもつ耕地課が、このたびの組織改正により、名実ともに「農村の振興」をめざす課として再スタートすることとなりました。身の引き締まる思いとともに誠心誠意努める所存でありますので、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

さて、国の農政改革の3つの柱である「水田・畑作経営所得安定対策」、「米政策改革」、「農地・水・環境保全向上対策」が、昨年度から始まっておりますが、農業、農村は今なお過疎化や高齢化の進行、担い手不足、鳥獣害被害や耕作放棄地の増加といった多くの課題が深刻化しています。これらの対策についても、この間、対策初年度から多くの見直しが行われるなど、必ずしも確たる状況にはありません。今後、京都府の実態を踏まえた真に地域の振興に繋がる取組みが重要であります。

このようななか、京都府では水土里ネット京都をはじめ関係団体の皆様のご尽力により、農業・農村の基盤づくりが着実に進んできました。既に約14,000ha、率にして61.2%のほ場整備が完了し、ブランド京野菜の生産振興や地域農業の組織化、法人化などに大きく貢献しております。また、昨年度はこれらの成果を将来にわたり適切に保全していくための「農と環境を守る地域協働活動」（農地・水・環境保全向上対策）に対し、全国的にもトップクラスの先進的な取組みをいただいております。さらに、本年度からは過疎・高齢化集落の再生に向け、集落を主体として大学やNPO、企業等集落外部の力を取り込んで展開する「ふるさと共援活動」の支援といった取組みも始まります。地域の知恵と工夫、協働による「地域力再生」を支援し、さらにその輪を拡げていかなければならないと考えております。

新しい農村振興課では、①地域、②そこでの生活から産業の活動、③その主体となる人、という3つの側面から、ソフトとハードを一体的に展開していくこととしています。その推進に当たっては、様々な発想の転換とあわせ、これまでの事業を地域という視点でもう一度見直す必要があると考えております。その際、旧村程度を範囲とする地域のビジョンとその課題の明確化が重要であると考えており、具体的な事業推進を通じ、そうしたことにも取り組んでいきたいと思っております。

水・土・里というかけがえのない資源、これをしっかりと守ることを基本に、着実な取組を一步一步進め、府政の最重要課題である「地域力再生」の大きな流れが農村地域から巻き起こせるよう、全力で頑張っております。水土里ネット京都並びに会員はじめ関係の皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

## 第5回

# 水・土・里ふるさと写真コンクール入選作品

「次世代に引き継いでいきたい身近なふるさとを感じる写真」を基本テーマに243点の応募があり、1月開催の審査委員会において金賞1点、銀賞2点、銅賞3点、佳作12点が決定しました。

2月28日には、京都市内で入賞者の表彰式を行い、入賞及び佳作作品は、京都府庁2号館1階、ガレリアかめおかにて展示しました。今後府内で縦断的に展示会を予定しており、府民へ広くPRすることにしております。



### 金賞 「晩秋暮色」

荒木 正義

撮影場所：宇治田原町



### 銀賞 「冬林」 北川 孝

撮影場所：南丹市美山町



### 銀賞 「農婦」 近本 正秀

撮影場所：宮津市



### 銅賞 「葺き替え体験」

坪倉 義英

撮影場所：宮津市



### 銅賞 「茶摘の唄」

余田 功

撮影場所：和束町



### 銅賞 「田植の頃」

塩見 芳隆

撮影場所：京都市右京区

# 森と水土里のフォーラムを開催

～京都の森を元気にしよう!!ふる里の自然環境を考えよう～

良質な農業用水の安定的な供給と国土の保全のためには、水源地域の森林について、水源かん養機能の発揮、土砂流出防止機能の向上、良好な森林水環境の形成などを図る必要があります。また、水源地域を取り巻く現状・課題や水源地域の森林により、かん養された農業用水の有効利用を図る意義を、水の恩恵を受けている下流地域の農業者や住民に広く伝えることも重要です。

今回のフォーラムはこの主旨にもとづき、平成19年度農業用水水源地域保全対策事業の一環として実施したものです。基調講演やパネルディスカッションを中心に、お楽しみイベントや展示・体験コーナーなどを設け、幅広く京都府民に参加いただくことを目的として開催しました。

主催 京都府土地改良事業団体連合会 京都府森林組合連合会  
社団法人京都モデルフォレスト協会

共催 京都府 亀岡市

後援 京都新聞社 K B S 京都

開催時期 平成20年3月30日(日)

開催場所 ガレリアかめおか(亀岡市)

実施概要 基調講演、パネルディスカッション、パネル展示、木工教室  
よし笛コンサート、森と水土里のコンサート、抽選会

コンベンションホール会場延べ入場者数 約500名

木工教室 約200名



主催者あいさつ 田中英夫副会長



開催地あいさつ 栗山正隆亀岡市長



フォーラム会場



よし笛コンサート



ハーブコンサート



木工教室

## 基調講演

# 「人と共に水土里を作りだしてきた森」



京都大学フィールド  
科学教育研修センター  
柴田昌三教授

近年、里地、里山という言葉が使われるようになってきました。これはかつてわたしたちが暮らしていくために自然と共生していた空間と考えればいいと思います。例えば山から切り出された木は家を建てる木材となるのはもちろん、薪や炭といった燃料となり、小枝や落ち葉は田畑の肥料や家畜の餌にもなりました。そうした山が里山です。山から出てきた水は利用されながら流れ下って、山と里の農地を結ぶ水のラインがしっかりとできあがっていました。その農地を守るための防風林や家の周囲の屋敷林、茅場と呼ばれていた屋根を葺く材料になるカヤやスキのあった草地も里地といえます。

このように里地、里山の風景は人が適度に関わることで維持されてきました。それが今、川は護岸工事でコンクリートに代わり、家の造りがよくなったので木を植える必要もありません。茅葺屋根の家などありませんから茅場もなくなり、薪や炭は使われなくなって山も荒れていく。里地、里山の景色が見られなくなると同時に、そこに棲んでいた生き物も消えていったのです。今ではメダカやゲンゴロウは絶滅危惧種です。

昔は土の上で作物をつくり、それを人間が食べ、排泄物やゴミは土に返っていました。水は、森に降った雨が川を流れて海に行き、蒸発してまた雨となり森に返ってくる。このように身近なところにいろいろな環（わ）があって循環していたのですが、それが壊れておかしくなっているのが今の状況だといえます。

もう一つ、大切なのは文化的景観という視点です。長年、地域ごとに培ってきた自然とのつき合い方や、それによって作り出された風景や支えてきた技術、道具を大事にしようという考え方です。例えば北山杉の磨き丸太をつくるためには人が木に登って枝打ちをし、また隣の木に飛び移って次の枝を払うという昔ながらの作業が行われています。また本仕込みといって木を一本残してそれに周りから木を立てかけ、夏の炎天下に二週間ほど置いて水気を抜いてから倒します。非常に手間をかけた方法で生産され、だからこそ高い評価を受けてきたのです。しかしこうした技術を維持している集団は現在北山でも一組しかありません。実は日本の山には原生林はほとんどありません。人間が手を加えることにより森にしてきました。それを今わたしたちはやめようとしているのです。

大切なことはまず自分たちの住む地域を理解することです。そしてその森がしっかりしていれば土にしみ込んだ水を木の根が吸い上げて防災効果も高まり、貯水機能も果たしてくれます。さまざまな植物が他の生物にも空間を与えてくれます。水の環の出発点なのです。きれいな水と健全な土の交わる場所が人の住んでいる里、まさに「水土里」です。水と土の両方が美しくなければならぬことを改めて認識していただきたいと思います。

次号掲載予定

パネルディスカッション  
「里地里山を考える人たちの技」



# 京都府21世紀土地改良区創造運動

## 1 平成19年度事業

### 1) 会員支援事業

| 種 別      | 改良区名      | 内 容                                     |
|----------|-----------|-----------------------------------------|
| 調査・測量・設計 | 大 原 野     | 確定測量及び農道台帳・水路台帳等の電子保存                   |
| 21創造運動支援 | 洛 西       | 小学校の総合学習教科を通じた講義                        |
|          | 巨 椋 池     | 一般府民にワークショップ等を通じての啓発                    |
|          | 綴 喜 西 部   | 啓発用掲示板の設置                               |
|          | 亀 岡 市 篠 町 | 新旧住民による農作業体験学習                          |
|          | 海 部       | 小学生の生き物調査による環境学習の実施<br>(21創造運動近畿地方大賞受賞) |
| 地域協働活動   | 洛 西       | 都市住民と一緒にの用排水路の保全活動                      |
| 土地改良施設   | 大 原 野     | 施設台帳、保全整備構想などの策定                        |
|          | 普 賢 寺     | 施設1カ所の工事                                |
|          | 大 住       | 施設2カ所の工事                                |
| 特認       | 福知山市豊富用水  | 管理規定の制定及び資料等の整備                         |
|          | 洛 西       | 管理コスト縮減のための施設改善計画の作成                    |

### 2) 写真コンクールの実施

農村の役割・価値・自然のふれあいなどを再認識し、次世代に引き継いでいくため実施しました。

### 3) 水土里フェスタ2007 in 京都駅ビル

農村を今後も維持していくには、いろいろな人たちの協力が必要なため、府内で取り組まれている様々な活動を知ってもらうため情報発信を行いました。

### 4) 京都府農林水産フェスティバル

21創造運動活動紹介や写真コンクール入賞作品の展示等を行いました。

## 2 平成20年度事業計画

- 1) 「京都の土地改良」発行
- 2) 会員支援事業の推進
- 3) 第6回水・土・里ふるさと写真コンクールの実施
- 4) “水土里フェスタ2008 in 京都駅”の実施
- 5) 農林水産フェスティバルを利用した広報活動
- 6) 21創造運動に対する積極的な情報発信と協力

# 会員支援事業事例紹介

## 海部土地改良区

21創造運動近畿地方大賞受賞地区



### 目的

ほ場に生息する生き物調査を通じて、水田や水路の果たす環境への役割について理解を深める。また、地域住民が共同作業を行い、地域コミュニティの形成を図る。

### 内容

- ・小学生による生き物生息調査。
- ・捕獲した生き物の放流
- ・水路法面へ芝の張付け。

## 洛西土地改良区



### 目的

老朽化の進んだ用排水施設が地域に果たす役割について住民の理解を深めるため、自治会を巻き込んだ活動組織を結成し、農地・農業用水の保全、また、構成員自らが補修に取り組むことのできる技術の向上を図る。

### 内容

- ・施設周辺の草刈り、水路の泥上げ
- ・施設補修研修への参加による技術習得
- ・水路の表面劣化に対するコーティング

## 巨椋池土地改良区



### 目的

巨椋池ワークショップメンバーを中心として、巨椋池基幹排水路の水の浄化を行う。また、一般向けの改良区概要のパンフレットを作成し、地域へのPRを図る

### 内容

- ・幹線排水路のゴミ拾い
- ・水質浄化用の竹炭の設置
- ・改良区概要書の発行

# 会員と土地改良事業団体連合会との 業務契約について

平成20年 6月

京都府土地改良事業団体連合会

京都府土地改良事業団体連合会は、土地改良事業を行う団体の協同組織として「土地改良法」(第111条の2)に基づき設立された法人です。

土連は、事業に関する一連の業務に携わるトータルコーディネーターであり、責任を持った業務を行います。

## 1) 事業採択申請及び事業実施のための業務

- ・過去の経験と実績を活かした技術と資料の整理
- ・環境との調和に配慮した事業実施のための生き物調査
- ・土地改良換地土による事前指導 等

## 2) 事業実施段階

- ・維持管理適正化事業の発注者支援
- ・換地や工事設計(発注)における地元調整
- ・工事施工現場等における施工管理に係る問題点処理 等

## 3) 事業完了後

- ・土地改良施設の診断や施設の補修整備に係る調査設計
- ・土地改良施設の財産・施設管理台帳の整備 等

土連は、市町村や土地改良区からの技術支援要望に対し、十分応える体制を確保しています。発注者が「公共工事の品質確保の促進に関する法律」(第15条第1項)に基づき発注者支援を活用する場合、土連は「近畿地域農業農村整備事業に係る公共工事の品質確保に関する協議会」が認定する支援機関の認定を受けている京都府内で唯一の団体です。具体的には「設計・積算」、「技術審査」、「工事監督」及び「工事検査」において、発注者を支援します。

会員の皆様には土連設立の主旨を十分ご理解いただき、調査設計及び換地業務等を土連に委託いただきますようお願いいたします。

土連といたしましても、皆様のご期待に応えるよう今後とも業務執行体制の充実と合理化、技術の研鑽に努めてまいります。

## 土地改良区役職員等研修会

平成20年2月7日（木）京都府自治会館ホール（南部会場）、平成20年2月14日（木）綾部市里山交流研修センター（北部会場）において、土地改良区役職員等研修会を開催しました。

2会場とも京都府農林水産部耕地課宮崎課長補佐より「土地改良区の運営と理事・監事の業務について」と題し、土地改良法に基づき説明があり、府内の土地改良区検査における問題点等について質疑応答が行われた。



2月14日綾部市里山交流研修センター

南部会場では、NPO 法人やましる里山の会 山本雅晃理事長より「里山の保全を考える」と題して里山の定義から現状、里山保全の必要性や課題について、北部会場では NPO 法人里山ねっと・あやべ 前田吉範事務局次長より「里山の保全と NPO 活動について」と題して NPO 法人設立の経緯、里山保全の現状、NPO 活動のあり方や課題について講演がありました。

### 非補助農業基盤整備資金

農業基盤整備資金は、用排水路の改良、ほ場整備、農道整備など生産基盤を整備して農業生産力の増大及び生産性の向上を図るための資金です。

また、農業集落排水施設の整備など生産基盤と一体として行う生活基盤の改善に必要な資金も対象となります。

#### ■ 対象となる事業種類

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、客土、農道、索道（軌道等運搬施設を含む。）、畦畔整備、農地造成、防災、農地保全、維持管理、農業集落排水、飲雑用水など

○農業集落排水事業の主な工事内容

- ・宅地内配水管敷設、屋内配水管敷設、集水ます、合接ますの設置
- ・トイレの改修工事
- ・浴室の改修工事（限度額100万円）、台所の改修工事（同50万円）、洗面所の改修工事（同10万円）

#### ■ ご利用いただける方

- ①土地改良区、土地改良区連合（事業主体になる場合に限る。）、農業協同組合、農業協同組合連合会、農業を営む者、農業振興法人
- ②5割法人・団体（農業を営む者及び上記①の法人がその構成員又はその資本金などの過半を占めるか又は過半の出資等をしている法人・団体）
  - （注1）5割法人・団体が借入者となるのは、農業集落排水施設等の農村環境基盤施設及び集落道（集落環境基盤施設）を対象とする場合に限りです。
  - （注2）団体への貸付けは、構成員の全員又は一部の連帯債務として融資します。

#### ■ 融資条件

償還期限:25年以内（うち据置期間10年以内）

融資限度額:地元負担金（最低限度額50万円）

金利:1.90%(5月23日現在)

借入時の金利は、金融情勢により変動します。  
最新の金利は、融資機関にご照会ください。

#### 融資のご相談・お問い合わせ

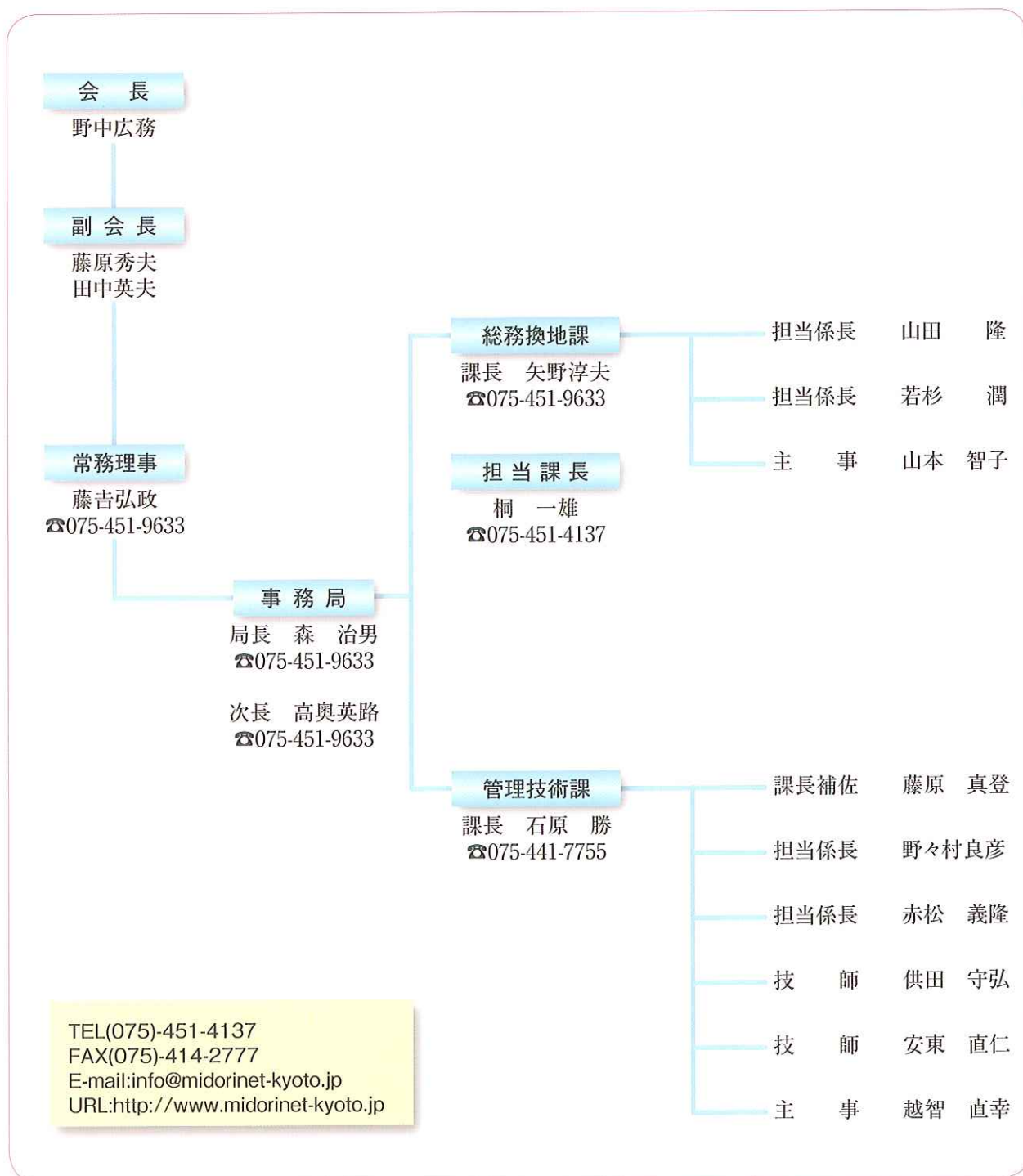
農協、信連、各市町村役場、府広域振興局、  
京都府土地改良事業団体連合会  
農林漁業金融公庫近畿支店(075-221-2147)

# 京都府土地改良事業団体連合会組織機構図

この度の京都府の定期異動に伴い事務局長の平野孝志氏は本会を退職し、京都府山城広域振興局に赴任され、4月1日付けで京都府から森農村振興課参事が事務局長に就任しました。

また、永年、本会の換地業務に従事された総務換地課の猪熊専門官が4月30日付けで退職されました。

平成20年度の本会機構図及び職員配置はつぎのとおり。



## 事務局だより

本会が平成20年度に実施する研修・会議ならびに関係機関が管外で実施する研修会の予定についてお知らせします。

なお、開催日時・場所については決定次第、支部経由で別途ご案内いたします。

### ① 会員関係

| 名 称         | 主 な 内 容                        | 業務種別 | 予定時期  | 場所  |
|-------------|--------------------------------|------|-------|-----|
| 土地改良区役員等研修会 | 土地改良区が果たす役割や土地改良組織に係わる課題について研鑽 | 一般   | 21年1月 | 府内  |
| 第52回通常総会    |                                | 会員   | 21年3月 | 京都市 |

### ② 換地関係

| 名 称          | 主 な 内 容                      | 業務種別 | 予定時期 | 場所  |
|--------------|------------------------------|------|------|-----|
| 換地計画指導者実務研修会 | 換地選定・土地評価の初歩的な仕組みを習得         | 換地   | 7月   | 府内  |
| 換地計画作成研修会    | 換地選定の実習を通じて選定手法を習得           | 換地   | 7月   | 京都市 |
| 農地連担化促進研修会   | 換地選定に併せて利用集積を促進するための仕組みを習得   | 換地   | 8月   | 府内  |
| 換地処分実務研修会    | 換地業務等に従事する技術者等が、より高度な専門知識を習得 | 換地   | 11月  | 京都市 |

### ③ 技術関係

| 名 称                   | 主 な 内 容                            | 業務種別 | 予定時期  | 場所  |
|-----------------------|------------------------------------|------|-------|-----|
| 団体営事業支援研修会<br>調査計画研修会 | 農業農村整備事業に関する調査計画、事業効果算定等の技術知識を習得   | 技術   | 9月    | 奈良県 |
| 団体営事業支援研修会<br>施工技術研修会 | 農業農村整備事業に関する設計・積算・施工管理に係る専門的知識を習得  | 技術   | 10月   | 奈良県 |
| 土地改良施設の維持管理に関する研修     | 土地改良施設の維持・管理の方法を習得                 | 技術   | 11月   | 京都市 |
| 農村計画研修会               | 農村総合整備事業に関する技術知識及び環境対策についての専門知識を習得 | 技術   | 11月   | 奈良県 |
| 産地育成水利支援研修会           | 農業水利権に係る様々な問題について対処法を習得            | 技術   | 12月   | 東京都 |
| 21創造運動セミナー            | 地域における創造運動の先導者となるためのセミナー           | 一般   | 12月   | 東京都 |
| 団体営事業支援研修会<br>一般研修会   | 農業農村整備事業に関する施策及び技術知識を習得            | 技術   | 21年1月 | 滋賀県 |
| 農村総合整備事業全国研修会         | 農村整備関係事業の制度について専門的知識を習得            | 技術   | 21年2月 | 東京都 |

全国コンクール

# 「ふるぎとの田んぼと水」 子ども絵画展2007入選作品



「私の家、花いっぱい!」

岩田 伊吹  
私立岡田保育園（舞鶴市）



「今日も田んぼに  
行ってきます。」

野木 彩香  
京丹後市立網野みなみ保育所

みどり  
水土里ネット京都

京都府土地改良事業団体連合会

〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104番地の2 京都府庁西別館

TEL (075) 451-4137 FAX (075) 414-2777

E-mail : info@midorinet-kyoto.jp

URL : http://www.midorinet-kyoto.jp